

疾患啓発による社会貢献

オリンパスは世界中の医療現場に医療機器を供給するだけでなく、一般市民向けに正しい情報を提供することで社会に貢献しています。

ブレイブサークル大腸がん撲滅キャンペーンを支援

増えている大腸がん

日本ではこの30年間に罹患数が6倍に増えている大腸がんは、女性のがん死亡率原因の第一位になっています。早期発見・早期治療ができれば、95%以上の確率で大腸がんは完治します。しかし、大腸がんは進行するまで、自覚症状がほとんどありません。そのため早期に発見するには、大腸がん検診(日本では便潜血検査)を毎年定期的を受け、病気の疑いがある場合は必ず大腸内視鏡検査等の精密検査を受けることが大切です。

企業の活動が公益活動へ発展

日本では大腸がん検診の受診率が25%程度(当時)に留まっている状況を踏まえ、オリンパスは2007年2月、検診対象である40歳以上の男女に大腸がん検診・精密検査の受診を呼びかける「ブレイブサークル大腸がん撲滅キャンペーン」を立ち上げました。2009年には

キャンペーン運営団体としてNPO法人ブレイブサークル運営委員会が設立され、全国で行政や地域のがん対策関係団体と連携



しながら大腸がん検診・精密検査の普及啓発活動を行う公益活動を拡大しています。行政による住民検診案内時の大腸がん検診・精密検査の受診勧奨用小冊子の同封、行政が実施するがん検診・精密検査普及啓発イベントに啓発資材の提供等を通じて大腸がん検診・精密検査の受診を広く継続的に呼びかけています。

オリンパスはブレイブサークル大腸がん撲滅キャンペーンのオフィシャルサポーターの1社として、NPO法人ブレイブサークル運営委員会の各種活動を積極的に支援しています。



大腸がんクイズラリー実施の様子



ウォークイベントを通じて大腸がん検診・精密検査受診を呼びかけ

内視鏡について正しく理解いただくために

おなかの健康ドットコム

内視鏡は病気の検診や精密検査、治療等で用いられていますが、まだまだ皆さんにはなじみが薄いため、内視鏡検査の大切さについて理解していただけていない傾向があります。オリンパスは多くの医療現場に内視鏡を供給している企業としての責務から、「内視鏡で見つける!健康応援サイト「おなかの健康ドットコム」」(<http://www.onaka-kenko.com>)を公開し、一般の

方々に内視鏡のことを正しく理解していただけるよう情報発信に努めています。医師の監修の下、がんなどのおなかの病気や、早期発見・早期治療の大切さ、内視鏡検査の受け方等をわかりやすく解説しています。

「内視鏡の日」アンケートキャンペーン

同サイトに関連し、一般の方々の内視鏡および内視鏡検査に対する意識の把握と理解促進を目的に、インターネットを用いた意識調査アンケートキャンペーンを毎年7月14日の「内視鏡の日」にあわせて実施しています。アンケートの集計結果は、「おなかの健康ドットコム」にてご覧いただけます。



「内視鏡の日」のロゴマーク